

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 **新型コロナウイルス関係医療従事者宿泊先支援事業費補助金**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3235)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,800 千円 (前年度予算額： 8,400 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,400	8,400	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,800	8,800	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症については、県内での感染拡大を見据え、まん延期に耐えうる医療提供体制の充実・強化のため、新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事する医療従事者への支援を行う必要がある。

(2) 事業内容

医療従事者の負担軽減を図るため、新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事する医療従事者が、宿泊施設に宿泊した場合に、医療機関に対して当該宿泊費用を補助する。(10,000円/泊(上限)×宿泊者数×宿泊日数)

(3) 県負担・補助率の考え方
国10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,800	医療従事者が宿泊施設に宿泊した際に要する経費に対する補助金
合計	8,800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症対策「～新たな波に備えて～」(R3.10.12)

(2) 後年度の財政負担

医療従事者の負担軽減を図るため、新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事する医療従事者に対して支援を行う必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症対策「～新たな波に備えて～」(R3.10.12)で、県としての対策として医療提供体制の強化が明記されている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内での感染拡大を見据え、まん延期に耐えうる医療提供体制の充実・強化のため、新型コロナウイルス感染症患者等の治療等に従事する医療従事者の負担軽減を図る必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事する医療従事者が、宿泊施設に宿泊した場合に、医療機関に対して当該宿泊費用を補助し、医療従事者の負担軽減を図った。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症患者の治療等に従事する医療従事者が、宿泊施設に宿泊した場合に、医療機関に対して当該宿泊費用を補助し、医療従事者の負担軽減を図った。
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	県内での感染拡大を見据え、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内の感染拡大防止と医療提供体制の整備は極めて重要である。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症により、肺炎の症状が重症化した患者の入院を受け入れるためには、医療従事者の負担軽減を図る必要がある。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	県内医療機関の状況の把握に努めており、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
